

議案提出について

議案「普天間飛行場の閉鎖・全面返還と名護新基地建設の中止を求める意見書」を次のとおり会議規則第13条の規定により提出します。

平成22年3月24日

金沢市議会議長 高村 佳伸 様

提出者

金沢市議会議員

大 桑 進

// 山 本 由起子

// 森 一 敏

// 森 尾 嘉 昭

// 升 きよみ

// 平 田 誠 一

議会議案第3号

普天間飛行場の閉鎖・全面返還と名護新基地建設の中止を求める意見書

米軍普天間飛行場は、沖縄本島中部の市街地に位置し、その周辺には住宅や学校等が密集しており、極めて危険性が高い場所となっている。また、2004年に沖縄国際大学の構内に米軍海兵隊所属のヘリコプターが墜落した事故は、大惨事を引き起こしかねないものであった。

日米両国は、1996年の沖縄に関する特別行動委員会合意及び2006年の在日米軍再編協議において、全面返還に合意しているが、今なおその実現は見えない。

また、移設先とされている名護市辺野古沿岸域は、ジュゴンを初めとする希少生物をはぐくむ美しい海域であり、名護市に誕生した新市長は、陸海を問わず、新基地建設反対の民意を代表している。また、去る3月8日、名護市議会は米軍キャンプ・シュワブ内に「移設」する陸上案に反対する意見書を全会一致で採択した。

よって、国におかれては、米軍普天間飛行場の即時閉鎖・全面返還を米国政府に要求し、交渉するとともに、名護新基地建設を行わないよう強く要望する。

ここに、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。